

BP Novice 2011 Adjudication Test Debate: THW legalize all drugs.

Adjudication Core の見解

文責: BP Novice 2011 Adjudication Core

① 順位

1 位	Closing Government (CG)
2 位	Closing Opposition (CO)
3 位	Opening Government (OG)
4 位	Opening Opposition (OO)

② Speaker Points

Opening Government (OG)		Opening Opposition (OO)	
Prime Minister	76-78	Leader of the Opposition	74-76
Deputy Prime Minister	69-71	Deputy Leader of the Opposition	69-71
OG Total	145-149	OO Total	143-147
Closing Government (CG)		Closing Opposition (CO)	
Member of the Government	73-75	Member of the Opposition	74-76
Government Whip	80-82	Opposition Whip	75-77
CG Total	153-157	CO Total	149-153

・必ず、Scoring Guide(HP にあります)を参考に点数をつけてください

③ Reason for Decision:

・必ず、チーム間の差についても述べてください。(ex. 1 位と2 位は迷った、4 位はクリアだった等)

・Adjudication Guideline (HP にあります)を参考にジャッジしてください。

・字数制限は設けません

今回は様々なレベルのディベーターが混在していたラウンドで、かつ、混戦だったと思います。

というのも、Extension や Argument をどう評価するかで、順位が変動する可能性が大いに有りうるからです。今回 AC 5 人は CG>CO>OG>OO という結論を出しましたが、1・2・3 位が僅差で、特に CG と CO の間で迷いました。

CG>CO の理由

CG と CO の間は非常に僅差だったと思います。おそらくその理由として、Extension が MG/MO 共に発展の余地があったこと、及び GW の New Analysis をどこまでとるかで判断が分かれると思いました。

まず、前提として Extension には MG、MO の時点で優越が非常につけがたかったです。MG は「中毒者がいきやすくなる」という説明の理由が「strange person とはみられないから」というやや遠いプロセスではあったものの Importance は「行けない人がいけて、なんとなく良さそう」というところにとどまっていました。一方 MO も脳がダメージを受けるという話は良かったのですが、アルコールやタバコとの違いが明瞭ではなかったこと(ここは明瞭であったと考えた AC もいたので、判断が分かれました)、もっと使用していく Gateway のプロセスが曖昧でした。したがって、MG、MO 共に Mechanism, Importance 共に疑問符が残る Extension でした。

しかし、GW の時点で「カウンセリングを受けることが出来る、imprison されなくて済むようになるのでいきやすくなる」というプロセス・Importance が追加されました。GW が Extension を付け加えることは highly discouraged ではあるものの、Dynamics 的にはあまり良くないもののルール上ある程度は認められることから、多少は CG の方が Extension の深さとしては分配があがるかもしれないという意見もありましたが、あったとしても僅かなもので、明瞭な差はないという結論に達しました。

では、どこで差をつけたかという点、以下の通りです。

Whip の Role Fulfillment

GW は、パートナーが出した内容である「中毒者が病院に行ける」という話や、Refutation を新しいメカニズムを付け加えつつ(例えば、imprison されなくて済むようになるのでいきやすくなる、等)押していました。また、Clash のつくりかたも自分のサイドに有利でかつ、OO や (informed に対する Refutation 等)、やや足りなかったですが CO の話も拾い、まとまっています。それに対して OW は Failure やコンセンサスのまとめはある程度していたもの、自分のパートナーの話の全面的に押し切ることとラウンドをまとめきれていないと感じました。

繰り返しになりますが、この 2 チームの差はほとんどなく、AC の間でも議論になり、順位が入れ替わる可能性も十二分にあると思いました。

CO>OG の理由

1. Stance/Organization

OG は PM が diversity of choice、DPM が black market なくすという内容を押しており、OG として何を守りたいのかが不明瞭でした。(もちろん、どちらも守るというのも可能ですが、でしたら DPM でももう少し Choice を押した方が良いでしょう。)それに対して CO はドラッグが危ないということ、Gateway effect が起こるということを押しており、何を守りたいかが分かりやすかったです。

2. Role Fulfillment

DPM は PM の繰り返し気味になっており、Black Market の説明もプロセス・インパクトともに不明瞭だったのに対し、MO はドラッグの Uniqueness、Gateway の最低限のメカニズム、OW がコンセンサスの整理、Definition の問題の指摘、OGCG どちらにも Engage しようとしていました。したがって、比較的 2 人通して Role を Fulfill している CO の方を評価しました。

3. POI

CO が POI を一回とり、他のチームと Engage していたのに対し、OG は POI がある程度されていたにもかかわらず 1 回も POI をとっていませんでした。POI の Engagement においても差があると考えました。(なお、POI に立つ数には大きな差がありませんでした。)

(4. Argument

Argument の深さに関しては、どちらも大差がないため他の要素ほどは大きくないのですが、OG の話は Matter Dump 気味だった上にやや抽象的(Generic)で、どのようなモーションでも使えるような話でした。それに比べ CO は all drugs にユニークな話をしている以上、Relevancy において CO のほうが良いという見方もありました。)

OG>OO の理由

DPM・DLO は双方ラウンドをあまり進めることができませんでした。DPM が Black Market の話を出そうとしていたものの Structure がわかりづらく未完成なままで、DLO に関しても少し言葉をかえた繰り返しでした。確かに、DPM は Black Market の視点は新しく、DLO の「やったことがないものは分からない」という反論も新しかったのですが、ほぼ同じくらいの貢献度ととり、ここでは差が付きませんでした。

なお、POI に関して、

- ・OG がラウンドの序盤から積極的に立ってはいたものの POI はとっていない
 - ・OO は DLO が POI をとったもののあまり積極的に立っておらず、かつ返せていない
- ということを見ると、POI に関しても大きな差はないと感じました。

OG と OO の差は Argument の差です。

(A) Principle の面

PM は Freedom of Choice が認められるべき理由として、人々の幸せの多様性を Introduction の段階から押し、ポイントの中でも説明していました。また、それに対して OO は Harm to Society をあげていましたが、なぜそれが重要なのかという話が残念ながらありませんでした。したがって、OG のほうが、Choice が大事かというところまで一歩踏み込んでいたと感じました。(なお、OO の Harm to individual は Structure の問題によりよく分かりませんでした。)

それを支える類似例として、タバコ・アルコール・エホバの証人と複数の例を説明しており、その Applicability を説明しようとしていました。(例えば、害があってもやることはできる、等。)それに対して、Opposition はその類似例で drunk driving を挙げていましたが、それがどう今回にもあてはまるのかという説明が Structure の問題もあり分かりづらかったです。したがって、Applicability の説明に関しても OG がやや丁寧だったと感じました。

(なお、calculate benefit and harm という部分は、OO の addictive になって考えられないというところとほぼ Offset されたと思いました。また、Educated だから Rational というのも、説明が浅かったと感じました。)

(B) Practical に関して

OO の話の Crime の話は、どのようにそうつながるのか、それがどのようにひどいのか分かりづらかったことに問題がありました。逆に、OG はアルコールのようにストレス発散にも用いられることを説明していました。(また、terminal ill の人にとっても何かしら良いとは説明されていました。)確かに、LO から uniqueness がないとは反論されており弱められてはいたものの、それ以前に OO の Crime が irrational になって犯罪を起こすというメカニズムが不明瞭でした。多少アーギュメント自体の分かりやすさにも差があるのかもしれませんが、OG のほうが「現状ですえない人が吸えて幸せ」という話のほうが信憑性が高かったです。

備考:

- GW のスピーチはおそらく評価が分かれると思います。というのも、New Matter も多く、あまり直前のスピーチに反論していないともとれますし、自分のパートナーの話積極的に押しつつ、GW としてルール上できることをしているととれるからです。ここは AC の中でも見解が分かれ、それに伴い CG と CO の判断が分かれると思いました。
- MO のスピーチも同様、判断が多少分かれると思います。ドラッグのユニークネスをある程度説明しており、要素は出ているのですがこれがしっかりメカニズムまで説明されているのか、それとも人の解釈にゆだねているのかが分かりづらいところがありました。(例えば、ドラッグは Long term に Harm がある、等)この Extension をどうとるかに

より、CG と CO の判断は分かれると思います。

- 今回 4 チームの間に明瞭な差があったとは言いがたいラウンドではあったと思います。特に CG と CO どちらが上なのかという議論は、AC 内でも長時間にわたり行いましたが、非常に難航しました。したがって、ここに関しては特に、多数の見方がありうるという多様性を重視した上での Reason for Decision の説明のしかたを見ることにしました。
- CG がナイフイングをしているのではないか、という見方がありました。(CG のキャラクター・スタンスは現状 black market にいてるひとたちであり、PM の maximize freedom of choice という話と対立するからです。)ですが、OG の時点で「吸えないけれど吸って maximize happiness できる人」「black market に行っている人」(主に DPM から)の両者がいることを考えると、今回はナイフイングではないと捉えました。
- ただし、ターゲット分けなどを even if 等を使用していないというところで、CG にも過失があるとも考えられます。しかし、その場合でも重いナイフイングとはとりがたいですし、自動的にそれだけで順位を下げることは控えてください。
- もし CG が contradiction (矛盾している)と考えた場合、どの程度ラウンドを混乱させたかも併せて評価してください。
- “marijuana café”という反論(DPM が少し話した内容であり、MG/GW がもう少し丁寧に話した内容ですが)確かに PM の時点ではっきりとは言っていないので Penalize する理由にはなりませんが、一応ぼんやりと”under control of the government”という Definition があり、OO もそこをついていないため、大幅に Penalize する理由にはならないと判断いたしました。

【Prime Minister】

平均～平均以上のスピーチをしていたと思います。PM の Definition には大きな問題は無く(ただ、具体的にどのように出回るのかという説明は欲しかったですが)、1st point に関しても Freedom of Choice の要素は出ていました。compare benefit and harm, first choice is rational 等を話したり、エホバの証人等の例を出して人々の幸せが多様であることを証明しようとしており、この点においては大きく評価できました。ただ、残念だったのはその一つ一つの要素が assertion どまりで matter dump 気味だったこと(多少、が問題であったこと、feel happy する上での all drugs の Uniqueness を説明しようとしていましたが不十分だったことが残念でした。

【Leader of the Opposition】

平均的なスピーチだったと思います。スタンス・Refutation に関しては、あとで irrational になることは最低限わかり、karaoke, going out という not unique という反論に関しても今回 PM が Uniqueness をしっかり説明しておらず十分ではあつたと思います。ポイントに関しては、飲酒運転や日本の事例をふまえつつ addictive->illusion->harm others を説明しようとしていましたが、具体的にどのように Harm につながるかの mechanism、及びその importance は不明瞭でした。飲酒運転も今回どのように当てはまるのかという applicability が薄いように感じました。

【Deputy Prime Minister】

平均を下回るスピーチだったと思います。全体的に、Structure や Fluency の問題でいいことが効果的に伝わってこない印象がありました。また、これは DPM に限った話ではないのですが OG としてのスタンスが果たして Freedom of Choice なのか Harm minimization なのかわかりづらくなってしまったのは残念でした。反論に関しては、タバコやアルコールもやっている、というのは PM の繰り返しかつ、なぜいいのかというのが分かりづらく、飲酒運転に関する反論も非常に不明瞭でした。Set a place というのはやや new definition ともとれる判断が分かれるものですが、仮に New じゃなかったとしてももう少し説明が必要だったと感じました。Point に関しては、Structure がぐちゃぐちゃやっていて分かりづらく、落とすところが不明瞭で、あまり評価ができませんでした。また、POI をとっておらず、相手の反論に対する再反論 (rational/irrational, drug の uniqueness)をドロップしたことも評価を下げる理由になりました。

【Deputy Leader of the Opposition】

平均を下回るスピーチだったと思います。DPM と同様、Structure や Fluency の問題でいいことが効果的に伝わってこない印象がありました。最初の「やったことがないことは分からない」という反論はある程度わかりましたが、そのあとの反論・Point はほぼ LO の繰り返しだったと思います。(やや、get violent, see strange things といった New はありましたが。)全体的に、新しい話が少なかったのがディベートを動かしていないと取られるスピーチであったと思います。

【Member of the Government】

平均、もしくはやや平均以下のスピーチだったと思います。informed に対しては、ニュースやメディア、医者、パッケージなど新しい視点で反論し、safe place という点についてもオランダの Coffee shop の例を出しており DPM よりも細かく具体的な視点をだしていたことはディベートを動かしているという意味で評価ができました。(ここも CG の貢献だととれました)Extension に関しては、新しい視点として現状の addicts が stranger として周りからみられなくなるから病院に行けるというのは最低限わかり、社会復帰ができそうということまではわかりました。ですが、この時点で mechanism, importance はぼやけていたと思います。

【Member of the Opposition】

平均程度のスピーチでした。Extension に関して、Drug の uniqueness は説明は完全ではありませんでしたが、直接脳にダメージを加え、害が長期的だということを(AC の中でも判断は分かれたものの)証明することはできていたと感じました。Black Market において安いだとかという話はよくわからなかったものの、Gateway effect が生じることは最低限”they cannot feel the same”と言及しつつ説明できていたと思います。ただ、全体として Government Bench に対する Engagement が少なかったと思いました。

【Government Whip】

上にも書いたように、Government Whip の評価は分かれると思いますが、どちらにしろ平均以上のレベルの高めのスピーチではあったと思います。mechanism の failure の説明を十分しているかどうかは、グレーゾーンで判断が分かれると思いました。GW のよかったのは、投獄を恐れなくてよい、カウンセリングを受けられるなど MG でかけていた mechanism や importance を(やや遅いですが)説明していたことです。また、OO の「やったことがないことは分からない」に対してもパートナーの informed, どんな Choice もできなくなるなどという効果的な反論があったと思います。直前の Speaker に対する Engagement は少なかったものの、ラウンドをまとめつつパートナーの話(informed, change mind café 等)を押すことには成功していたと思います。

【Opposition Whip】

Above average のスピーチだったと思います。コンセンサスの説明や、OG の Definition の Failure 等を指摘しており、ラウンドを整理しようと言う姿勢が見え、かつ Bench 全体に反論しようとはしていました。ですが、パートナーの話を含めて全体的に押せていなかった印象と、CG に直接的に反論していなかったところ、Time Management の関係で議論を網羅できなかったことなどがやや問題ととれました。